



# GIFTS & TASKS

"DONS et DEVOIRS"

*Helping each other live the Gospel at home & around the world*

*International Organization of Marianist Lay Communities (IO-MLC)*

*Region of North America, Asia, Australia, and Ireland*

**OCTOBER - 2018**

GIFTS&TASKS 10月号

このニュースレターが皆さまのお手元に届く頃、私は10月26日から28日に開催されるマリアニスト家族世界評議会(WCMF)に出席する準備をしています。国際チームはローマでSMとFMIの総本部の方々と会うことになっています。信徒マリアニストのそれぞれの代表者は、世界の違う地域から成長と課題についての情報を共有します。

マリアニストであることは、本当に胸が躍る時です。信徒はマリアニスト家族の中でより大きな役割を果たすことを理解し、足を踏み出し始めています。素晴らしいカリスマを成長させ、広めるために、SMのブラザーたちやFMIのシスターたちを交えて共同してやっていくことは、私たちの責任です。

カリスマを広める全責任を取るために、信徒はマリアニスト・ブラザーやシスターだけに頼ることはもはやできません。世界中に「カリスマを運ぶ人」にもなるために、私たちはブラザーやシスターたちと共同して行動する方法を見つけなければなりません。

このWCMF会議の日程には、家族の違う枝がより効果的に共同してやっていく方法を探る時間が含まれています。性的虐待のスキャンダルの原因となった教会の中にあるクラリカリズムの文化に取り組む方法について、私たちの共同体の中での対話を開示する方法について話し合うこともまた私の希望です。

共同体、共同して行動すること、「混合構成」、「使徒職としてすべての人は平等である」というマリアニストの伝統は、教会に教えることが多くあるというのが私の信じるところです。家族として共に働くことによって、誰でも歓迎し、信仰に満ちて、貧しい人や取り残された人たちと共にいるマリアの教会の構想を発展する手助けとなる「運動」を引き起こすことを始められます。

そのような意味で、私はこの会議に参加することに胸を躍らせています。

あなたとあなたの MLC に平和と恵みがありますように。  
マルセタ

マルセタ・フレミング・ライリー  
北米/アジア地域代表



## Featured Region: アイルランド

**編集者注：**ダブリンには、マリアニストのブラザーが関わっている学校がありますが、現在それは個人の所有に移行されています。わずか数人の愛されているブラザーがまだそこに住み働いています。信徒として、私たちは皆、とても愛されている SM や FMI の修道院が縮小していくのを見るのは、いかに辛いことかがわかります。それで、スーザン・バックレイとマリー・マックブライドのような信徒が、正式な修道院が無くなった後に、その組織に私たちのマリアニスト・カリスマの光を絶やさないようにすることを始めています。

そのようなわけで、私は今月、実際には正式な信徒マリアニスト共同体がないこの地域の国を特集したいと思いました。しかし、バーチャルにマリアニストに接するネットワークによって、世界家族のなかでのイベントに参加し、自分たちの関わりと人生の中でマリアニスト・カリスマを生き抜くことによって、マリアニスト精神を保ち続けている何人かの非常に献身的な信徒マリアニストがいます。

## 意志のあるところに、道はある！

スーザン・バックレイ  
アイルランド、ダブリンの  
マリアニスト代表



マリー・マックブライドと私が、マリアニスト女性サミットの記事「アデルの精神の中にある勇気ある希望」を読んだ時、私たちは本当にこれに参加したいことが分かりました。

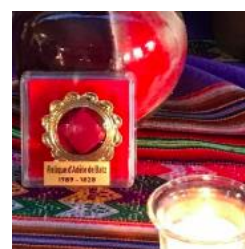
スーザン・バックレイとマリー・マックブライド

唯一の問題は、そのサミットがミズーリ州のセント・ルイスにあるマリアニスト黙想及び会議センターで開催されることでした。私たちはアイルランドに住んでいました。しかし、「意志のあるところに、道はある」と言われているとおり、有難いことに、私たちは道を見つけました！

それで、10月12日金曜日、柱の聖母の祝日に、私たちは黙想センターに着きました。その日は雨で寒く、典型的なアイルランドの気候でした。そのため私たちはまさに自宅にいるように感じました。カナダから来たシスター・レーヌ、韓国から来たシスター・クリスティーナをはじめ、全米から来た50名の女性たちが参加しました。

何と素晴らしい、信仰に満ちた、愉快で、感動的な経験となった週末だったのでしょうか！

最初から最後まで、それはアデルの精神に見られる生き生きとした勇気ある希望に十分浸ったものでした。アデルは確かに存在しました。特にそれぞれの女性、一人ひとりが畏敬の念を持って、アデルの聖遺物の前を通り過ぎて祈る時に。



シャミナード神父様とマリー・テレーズもまた私たちと共にいました。マリーと私は友情を新たに、多くの新たにできたマリアニストの友人たちと別れました。私たちはこの週末とマリアニスト家族が、本当に恵みに溢れていると感じています。すべての詳細を計画してくださったシスター・ニコルと懸命に働いているシスターのチームに感謝します。



スーザン・バックレイは、国際マリアニスト・サイバー共同体である「円卓の聖母」のメンバーです

## Friday Magnificat の新しい編集者を探しています

ジェニー・ピンピンーラムは、過去 8 年に亘って Friday Magnificat の編集をしてきています。彼女は自分のビジネスの学位でマーケティングの部分を発展させる方法として、大学のすぐ後にこの仕事を始めました。しかし、今彼女は二人の幼い子供の世話をしているので、興味を持っている他のボランティアにバトンを渡す時期だと考えています。彼女は毎月の仕事をまとめるうえで、とても大きな働きをしてきています。彼女はリマインダー・テンプレートと、作業を効率よくしかも簡単にできるような年間話題計画チャートを作っています。

マリアニスト家族や、アフィリエイトや、マリアニストの修道院がほとんど無いか、皆無の地域に住む信徒と連絡を取り続けたいと思う、最近大学を卒業した人に**この仕事をやって頂くのが理想です**。その役割によって、マリアニストのイベント、奉仕活動、世界中にいる 3 つの枝のすべての家族から成る人々とつながることができます。そしてこの仕事はすべて自宅です。

さらに情報を得たい方やこの仕事について尋ねることに興味をお持ちの方は、[marcetar@gmail.com](mailto:marcetar@gmail.com) までご連絡ください。

1 月までにこの仕事の担当を決めたいと考えています。ジェニーは、新しい方がこの仕事を始める時に指導してくださると確約しています。

## 祈りましょう



母マリアよ、マリアニスト家族世界評議会と MLC の国際チームで開催される会議の中で、私たちをお導きください。

- ・私たちの枝の間で、創造的で活気ある共同して行動する方法を見出すよう助けてください。
- ・性的虐待スキャンダルの原因となったカリカリズムの文化を終わりにする教会に、変化をもたらす提言の方法を識別するために私たちを導いてください。
- ・私たちの関係性を構築し、人生を生きるうえで、あなたの模範に従うことによって、「カリスマを運ぶ人」になるように励ましてください。

私たちの主、キリストによって。アーメン。